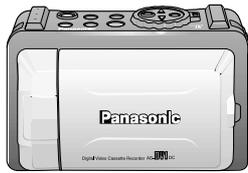


Panasonic



デジタルビデオカセットレコーダー 取扱説明書

品番 AG-DV1DC



Mini **DV**

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、デジタルビデオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

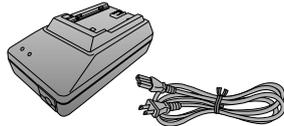
LSQT0626A

付属品のご確認

本機をご使用いただく前に、すべての品がそろっていることをご確認ください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。



デジタルビデオカセットレコーダー・・・1台



ACアダプター (DE-811G) 1個



DCケーブル..... 1本



A/V (映像/音声) ケーブル... 1本



リチウムイオンバッテリー (CGR-D08R) 1個



ビスユニット... 1個
・付属のビスユニット以外
は使用しないでください。
(P34)



取扱説明書 (本書) ... 1冊、
その他印刷物

本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

FCC Warning: Any unauthorized changes or modifications to this equipment would void the user's authority to operate.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note: This equipment has been tested and found to comply with Part 15 and part 18 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when operated in a residential environment.

If this equipment does cause interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, use the equipment in another location and/or utilize an electrical outlet different from that used by the receiver.

If necessary, consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help. You may find the booklet, 'Something About Interference' available from FCC local regional offices helpful.

This product may cause interference to radio equipment and should not be installed near maritime safety communications equipment or other critical navigation or communication equipment operating between 0.45-30 MHz.

もくじ

<p>ご使用前に</p>	<p>付属品のご確認 2 安全上のご注意 4 各部の名前 8 メニュー画面の表示 10 液晶モニターの表示 12 ご使用の前に 14 ・録画速度/再生時間、誤消去防止つまみ、カセットを入れる 14 ・バッテリーを充電する 15 ・バッテリーを付ける、バッテリーを外す、バッテリーについて 16 ・ACアダプターを使う場合、電源を入れる 17 時計の設定 18 メニュー画面の操作のしかた 19</p>	<p>ご使用前に</p>
<p>再生する</p>	<p>画像を再生する ・画像を再生する 20 ・ヘッドホン（別売品）の接続 20 ・音量の調整 21 ・液晶モニターの明るさと色合いの調整 21 ・COLOR（カラー）モード 22 ・テレビで見る 23 特殊再生 ・見たい場面をすばやくさがす、静止画再生 24 ・録画した最後の部分をさがす（ブランクサーチ） 25 ・早送り/巻戻し中の画像確認 25 ・可変速サーチ、コマ送り再生 26</p>	<p>再生する</p>
<p>録画する</p>	<p>録画する ・画像を録画する 27 ~ 28 さまざまな録画録音機能 ・録画した映像に別の音声を入れる（アフレコ） 29 ~ 30 ・S-VHS（VHS）カセットにコピーする（ダビング） 31 ・テレビで見る 31 ・S-VHS（VHS）カセットからコピーする（ダビング） 32 ・デジタルビデオ機器から録画する 33</p>	<p>録画する</p>
<p>その他</p>	<p>使用上のご注意 ・ピスの使い方 34 ・ワイヤードリモコンについて 34 ・ビデオヘッドのお手入れ 35 ・テープ操作についてのご注意 35 警告表示について 36 「故障かな!？」 37 アフターサービスについて 38 仕様 39 索引 裏表紙</p>	<p>その他</p>

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

危険

バッテリーの充電は、専用の充電器を使う



機器の形状が同じでも性能が異なると、バッテリーの液もれ・発熱・発火・破裂につながります。

バッテリーを指定以外の機器に使わないでください。

バッテリーを分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、加熱、火中投入などをしない



液もれ・発熱・発火・破裂につながります。

不要(寿命)になったバッテリーについては、15ページをご参照ください。

⚠ 危険

バッテリーの端子部 (+ と-) に金属物 (ネックレスやヘアピン) などを接触させない



液もれ・発熱・発火・破裂につながります。

ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

バッテリーを炎天下 (特に真夏の車内) など、高温になる場所に放置しない



液もれ・発熱・発火・破裂につながります。

⚠ 警告

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 ~ 240 V 以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

風呂場、シャワー室などの水場で使わない



火災・感電・故障の原因になります。

水場使用禁止

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

必ず、付属 AC アダプターを使用する



付属の AC アダプター以外を使用すると、火災・感電の原因になります。

警告

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

内部に異物や水が入ったり故障（画面が映らない、音が出ない、外観が破損しているなど）や煙が出ている、へんな臭いや異常音がしたら使用をやめる



火災・感電の原因になります。

電源プラグを抜く

電源プラグを抜くまたは、電源ブレーカーを「切」にし、販売店にご相談ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

水などをこぼさない



感電・ショート・火災の原因になります。

水ぬれ禁止

電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

警告

雷が鳴りだしたら本機の金属部に触れない



接触禁止

落雷すると、誘電雷により感電死につながります。

雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

絶対に分解したり修理・改造をしない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

点検・修理は販売店にご相談ください。

注意

長時間使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜いておく



電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因となることがあります。

カセット入り口に指をはさまれないように注意する



指に注意

けがをするおそれがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところでは使わない



内部に水やほこりが入ったり、激しい振動で内部部品が破損したりすると、火災・感電・故障の原因になります。

指定以外のバッテリーを使用しない

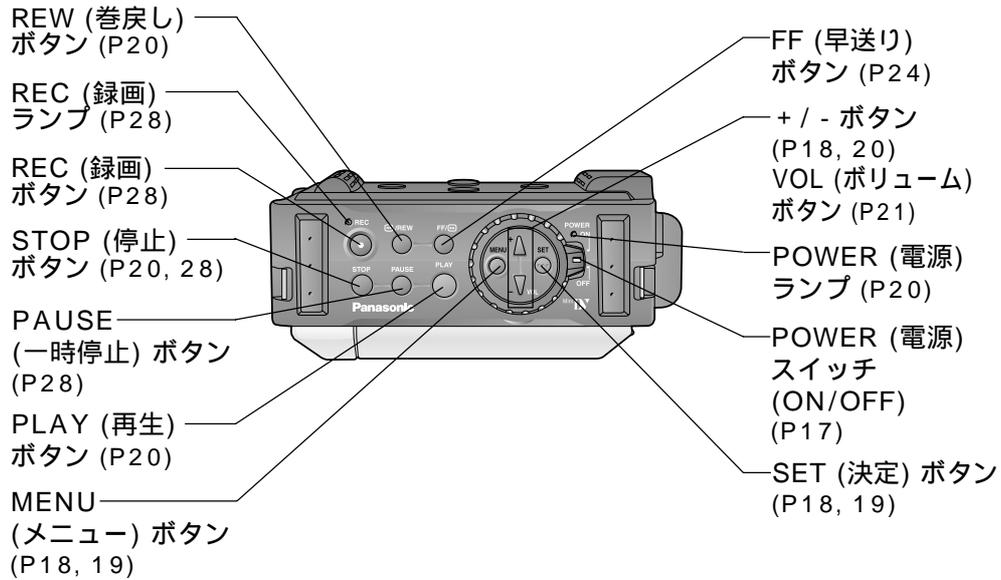


火災・けがの原因になります。

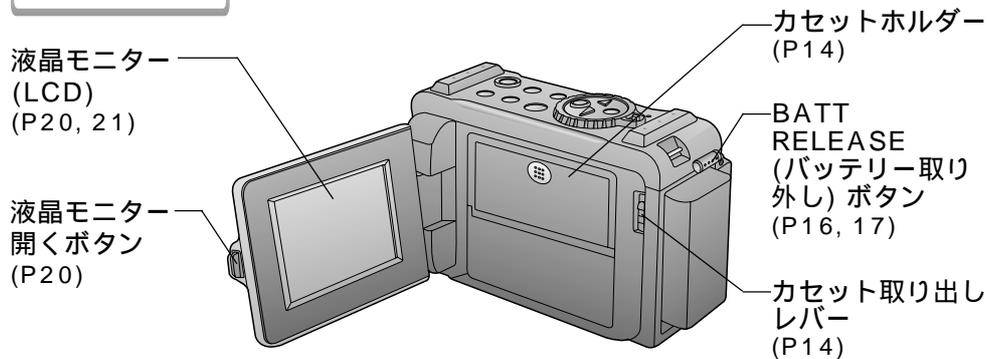
各部の名前

天面

() 内の数字は、参照ページを示しています。



右正面



お願い

本機とテープ保護の観点から、ほこりや汚れの多い環境でのご使用は避けてください。液晶モニター (LCD) は閉じてご使用することをお勧めします。

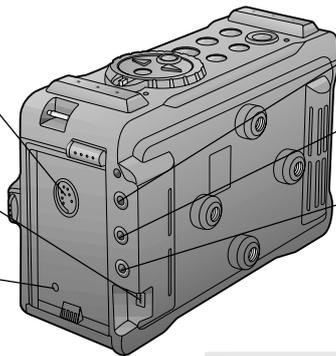
ご使用前に

左後面

S映像端子
(入力/出力)
(P23, 28, 31~32)

DV端子
(入力/出力)
(P33)

DC IN端子
(P17)



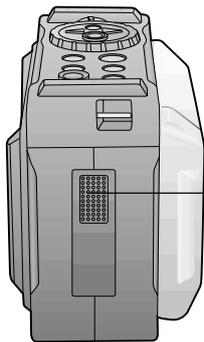
MIC (マイク)
端子 (P29)

REMOTE
(リモート) 端子
(P34)

A/V (映像/音声)
端子 (入力/出力)
(P23, 27~28,
30~32)

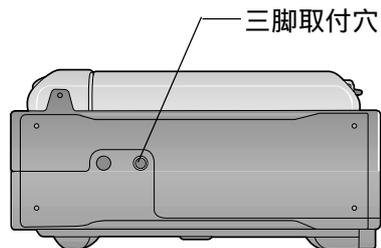
PHONE
(ヘッドホン) 端子
(P20)

側面



内蔵スピーカー
(P21)

底面

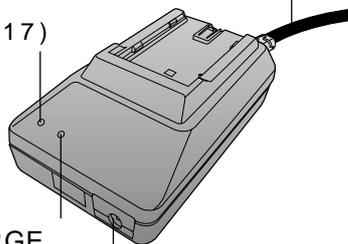


三脚取付穴

ACアダプター

POWER (電源)
ランプ
(P15, 17)

電源コード
(P15, 17)

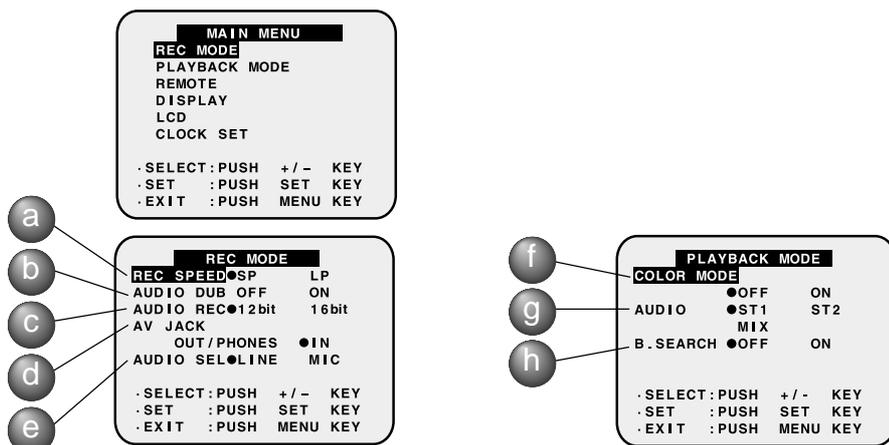


CHARGE
(充電) ランプ
(P15)

DC出力端子
(P17)

メニュー画面の表示

MAIN MENU (メインメニュー) 画面



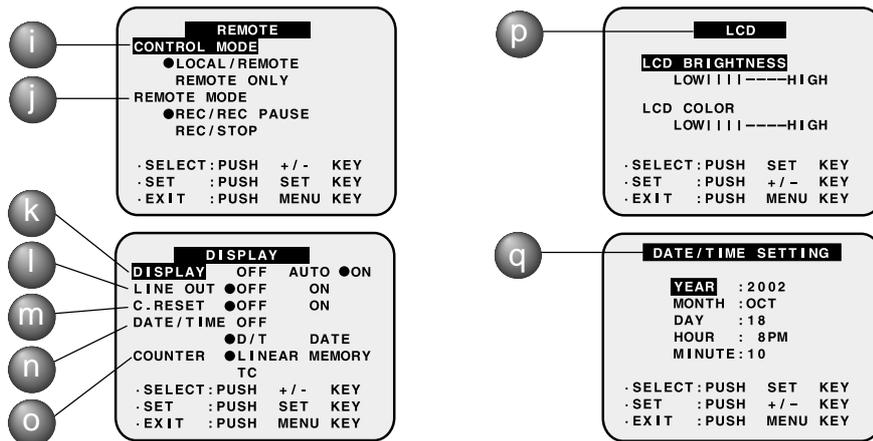
REC MODE (録画モード)

- a REC SPEED (録画速度設定)**
(P27)
SP: 通常の録画速度モード
LP: 録画時間はSPモードより1.5倍長くなります。たとえば、80分のテープで120分の録画が可能です。
- b AUDIO DUB (アフレコ録音)**
(P30)
本機が再生一時停止中にアフレコ録音機能を用いたいときは、メニュー画面のAUDIO DUBを「ON」に設定します。
- c AUDIO REC (音声記録)**
(P29)
12 bit: サウンドは12ビット/32 kHzモードで録音されます。
16 bit: サウンドは16ビット/48 kHz高品質モードで録音されます。
- d AV JACK (映像/音声端子)**
(P23, 27, 29~33)
映像/音声端子の入出力を設定します。

- e AUDIO SEL (音声入力)**
(P27, 29~30, 32)
録音時の音声をLINEから入力するかMICから入力するかを選択します。(AV JACKは「IN」を選択しておいてください。)

PLAYBACK MODE (再生モード)

- f COLOR MODE (カラーモード)**
(P22)
白黒で再生したいときは「OFF」に設定します。
- g AUDIO (再生音声設定)**
(P30)
12 bitモードでアフレコ録音を行なったときの再生音声を選択します。(SPモードのみ)
ST1: 元の音声を再生します。
ST2: アフレコ音声を再生します。
MIX: 元の音声とアフレコ音声を同時に再生します。
- h B.SEARCH (ブランクサーチ)**
(P25)
「ON」を選ぶと、テープの未記録部分をさがします。



REMOTE (リモートモード)

- i** **CONTROL MODE (コントロールモード)**
「LOCAL/REMOTE」を選択すると、本機とリモコンの両方でボタン操作ができます。
「REMOTE ONLY」を選択すると、リモコンでのみボタン操作が可能です。(MENU ボタン、VOL +/- ボタン、POWER (電源) スイッチは、本機上でも動作します。)
- j** **REMOTE MODE (リモコンボタンの切り替え)**
リモコンボタン機能 (REC/REC PAUSEかREC/STOP) を指定します。

DISPLAY (表示モード)

- k** **DISPLAY (表示形式) (P13)**
液晶モニター (LCD) への表示形式を選択します。
- l** **LINE OUT (テレビ画面への表示出力) (P23, 27)**
「ON」にすると、テレビ画面などに機能表示が表示されます。

- m** **C.RESET (カウンターリセット) (P13)**
「ON」にすると、カウンターの値がゼロになります。(COUNTERはLINEARまたはMEMORYを選択しておいてください。)
- n** **DATE/TIME (日時表示) (P12)**
画面への日時表示形式を選択します。
- o** **COUNTER (カウンターモード) (P13)**
カウンター表示 (LINEAR、MEMORY、TC (タイムコード)) を選択します。

LCD (液晶モニターモード)

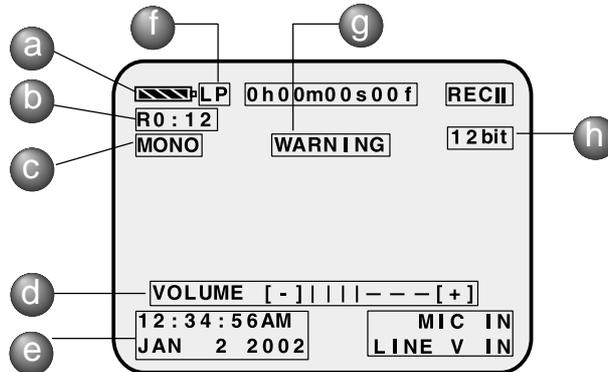
- p** **LCD (液晶モニターの調整) (P21)**
液晶モニターの明るさとカラーレベルを調節します。

DATE/TIME SETTING (日時設定)

- q** **DATE/TIME SETTING (日時設定) (P18)**
日時の設定ができます。

液晶モニターの表示

液晶モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。



- a** バッテリー残量表示
 容量が充分あるとき
 ↓
 ほとんどないとき (点滅)

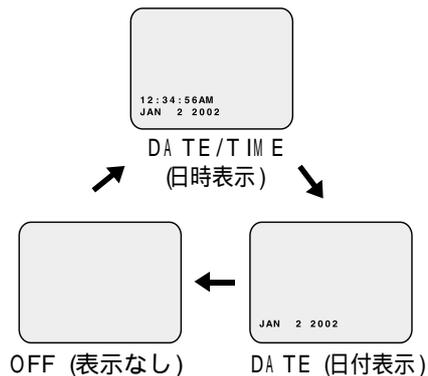
- b** テープ残量表示
 (30分テープ) (60分テープ)
 R0:30 R1:00
 ↓ ↓
 -R0:00- -R0:00-
 ・テープが動作し始めてからテープ残量表示が表示されるまで、数秒かかります。

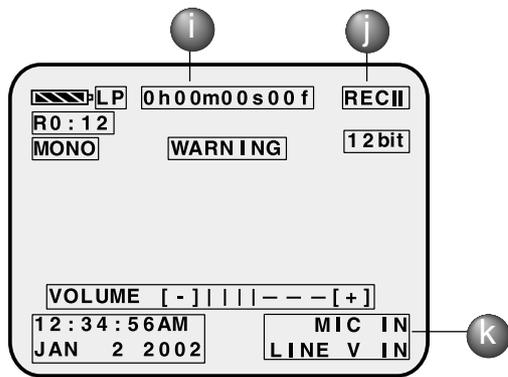
- c** カラーモード
 (メニュー画面:P10)
 COLOR MODEメニューで「OFF」を選択すると、「MONO」が表示されます。

- d** 音量表示 (P21)
 内蔵スピーカーの音量を調整するとき、この音量表示バーが出ます。

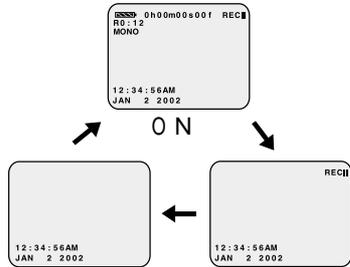
- e** 日時表示 (メニュー画面:P11)
 ・右図のように、日時表示は、本機のメニュー画面のDATE/TIME (日時表示) を変更するたびに変わります。

- f** テープ速度表示
 (メニュー画面:P10)
 テープ速度 (SPかLP) を表示します。
- g** 警告表示 (P36)
 警告表示が液晶モニターに表示されます。
- h** 音声記録モード表示
 (メニュー画面:P10)
 音声記録モード (12 bitか16 bit) を表示します。





i DISPLAY ON/OFF/AUTOおよびCounter (カウンター) /Time Code (タイムコード) 表示
 DISPLAYメニュー画面での設定によって、表示が下図のように変わります。(メニュー画面:P11)
 ・「A U T O」を選択した時は、再生などの操作が行なわれるたびに、状態表示が5秒間だけ表示されます。



OFF (表示なし) A U T O (状態表示)

カウンターメモリー M 0:00:00
 本機は、アフレコ、早送り、巻戻し中に、カウンターがM 0:00:00付近になると、自動的に停止します。(メニュー画面のC O U N T E R を M E M O R Y に設定しているとき)

タイムコード 0h00m00s00f
 撮影 (録画) したテープ上に記録される時間データのこと、時、分、秒、フレーム (1秒は約30フレーム) で表されます。
 ・この表示はリセットできません。

注意事項

・C O U N T E R (カウンター) がT C (タイムコード) に設定されているときは、C R E S E T (カウンターリセット) はできません。

j 状態表示

REC	録画中
REC II	録画の一時停止中
▷	再生
	静止画再生中
STOP	停止
▷	コマ送り (正方向)
◁	コマ送り (逆方向)
FF	早送り
REW	巻戻し
▷▷	早送り再生
◁◁	巻戻し再生
BLA NK	ブランクサーチ
A DUB	アフレコ中
A DUB II	アフレコ一時停止

k 入力モード表示

入力モード	表示
A V J A C K : I N A U D I O S E L : M I C	M I C I N L I N E V I N
A V J A C K : I N A U D I O S E L : L I N E	L I N E A V I N
A V J A C K : O U T	D V I N
A V J A C K : I N A U D I O S E L : L I N E (アフレコ中、アフレコ一時停止)	L I N E A I N
A V J A C K : I N A U D I O S E L : M I C (アフレコ中、アフレコ一時停止)	M I C I N
A V J A C K : O U T (アフレコ中、アフレコ一時停止)	M I C I N

ご使用の前に

録画速度/再生時間

6.35 mmデジタル規格を示すMini DVロゴの入ったテープだけを使用してください。

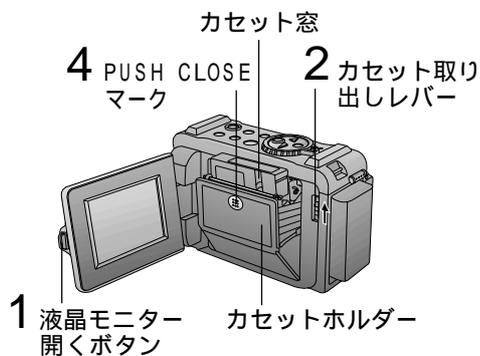
録画速度/再生時間	
SP	LP
30分	45分
60分	90分
80分	120分

SP (標準) : Standard Playの意味です。

LP (長時間) : Long Playの意味です。

カセットを入れる

カセットの出し入れは、本機の電源が供給されていれば、電源スイッチが「切」の状態でもできます。



液晶モニターを持って本機を引き出したり運んだりしないでください。



カセットを入れるときは、正しい向きになっていることを確認してから完全に押し込んでください。

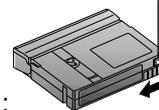
14

誤消去防止つまみ

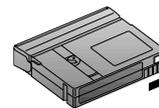
誤って撮影内容を消さないために、カセットには誤消去防止つまみがついています。

- 1 誤って撮影内容を消さないために: 誤消去防止つまみを左にスライドします (開く)。

誤消去防止つまみ



- 2 再び録画するとき: 誤消去防止つまみを右にスライドします (閉じる)。



始める前に

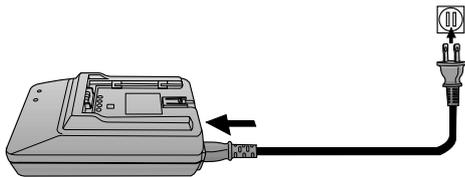
本機を電源に接続してください。
(P16, 17)

- 1 液晶モニターを開く
・液晶モニター開くボタンを押して液晶モニターのロックを解除し、完全に開いてください。
- 2 カセット取り出しレバーをスライドさせて、カセットホルダーを開く
- 3 カセットを入れる
・誤消去防止つまみを上にし、カセット窓を外側に向けて入れます。
- 4 「PUSH CLOSEマーク」を押して、カセットホルダーを閉じる

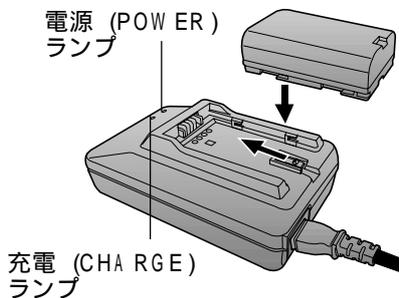
カセットを取り出す

カセット取り出しレバーをスライドさせてカセットホルダーを開き、カセットをまっすぐ抜き取る

バッテリーを充電する



- 1 電源コードを図のように接続し、プラグをコンセントに差し込む
 - ・電源 (POWER) ランプが点灯します。
 - ・DCケーブルを接続している場合は、取り外してください。



- 2 充電する
 - ・図のように水平にのせてスライドしてください。
 - ・充電 (CHARGE) ランプが点灯します。充電が完了する (約1時間) とランプは消えます。完全に充電した場合、約2時間 (液晶モニターを閉じているとき) 操作が可能です。

- 3 バッテリーを外す
 - ・バッテリーをスライドして、上に持ち上げます。



充電 (CHARGE) ランプの点滅について

- ・バッテリーの充電は、10 ~ 30 の温度範囲で行ってください。
- ・極端な低温や高温の下でバッテリーの充電を行うと、充電時間が長くなります。

充電 (CHARGE) ランプが点滅するとき...

- ・バッテリーの充電は行われているが、充電に通常より長く時間がかかっているとき。
- ・充電ができないとき。この場合は、バッテリーを一度外し、しばらくしてから充電しなおしてください。



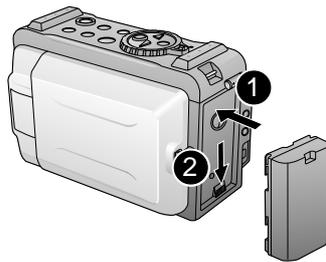
不要になった電池 (バッテリー) は、貴重な資源を守るために、破棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



Li-ion

ご使用の前に

バッテリーを付ける



- ・バッテリーをまっすぐに押しあて、「カチッ」と音がするまで下にずらす

バッテリーを外す



- ・BATT RELEASEボタンを押しながら、バッテリーを上へずらして取り外す

バッテリーについて

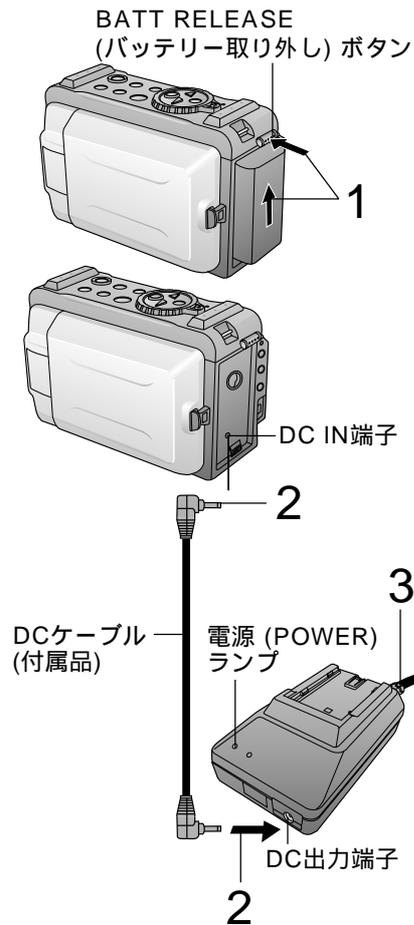
お願い

バッテリーを火中に投入したり、逆挿入したり、分解・ショートさせたりしないでください。バッテリーが液もれしたり、破裂したりしてけがをすることがあります。充電は必ず指定の充電器をご使用ください。充電は、10 ~ 30 の温度範囲で行ってください。充電後や使用直後はバッテリーが多少熱を持つことがありますが、異常ではありません。充電が不十分なバッテリーや中古のバッテリーは使用しないでください。極端に低温や高温の環境でバッテリーの充電を行うと、充電時間が長くなります。バッテリーに強い衝撃や振動を与えないでください。バッテリーを指定以外の機器に使わないでください。バッテリーを極端に温度が高いところで使用すると、保護機能が働き使用できない場合もあります。

メモ

使用後は、必ず本機やACアダプターから取り外し、涼しくて湿気が少なく、なるべく温度が一定のところに保管してください。付けたままにしておくと、過放電になり充電してもバッテリーが使用できなくなります。バッテリーの端子は常にきれいにしておいてください。

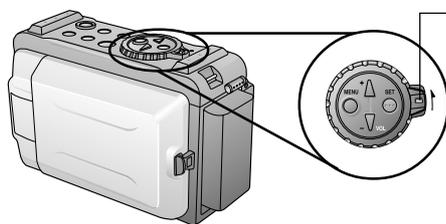
ACアダプターを使う場合



- 1 BATT RELEASEボタンを押しながら、バッテリーを上にはずらして取り外す
- 2 DCケーブルを接続する
・ACアダプターのDC出力端子と本機のDC IN端子を接続します。
- 3 電源コードをACアダプターに接続する
- 4 ACアダプターの電源プラグをコンセントに接続する
・ACアダプターの電源 (POWER) ランプが点灯します。

メモ
ご使用後は、コンセントからACアダプターの電源プラグを取り外しておいてください。(ACアダプターをコンセントに差し込んだままにしておくと、本体の電源を切った状態でも、0.5 Wの電力を消費しています。)

電源を入れる



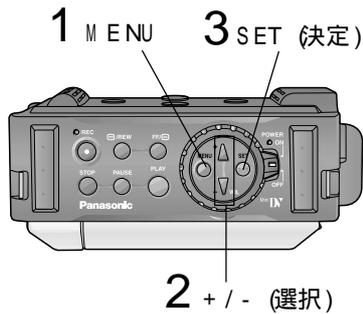
- 1 白いボタンを押しながら、POWER (電源) を「ON」に合わせる
・電源 (POWER) ランプが赤く点灯します。
・確実に「ON」の位置に合わせてください。

電源を切る

白いボタンを押しながら、POWER (電源) を「OFF」に合わせる

時計の設定

日付/時刻を設定します。
日付は、閏年も含めて、2089年
12月31日まで自動計算されます。



例：

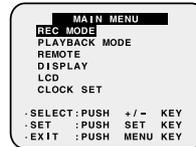
YEAR	: 2002		
		SET	押す
↓			
MONTH	: JAN		
		+ / -	押す
↓			
MONTH	: FEB		

始める前に

本機を電源に接続してください。
(P16, 17)
白いボタンを押しながら、POWER
(電源)を「ON」に合わせてください。

1 MENUを押す

・「MAIN MENU」画面が表示されます。(P19)



2 +/-を押して「CLOCK SET」を選択し、SETを押す

・「DATE/TIME SETTING」メニュー画面が表示されます。

3 年月日、時刻を設定する

・SETを押して、「YEAR」(年)を選択し、+/-を押して設定します。SETを押すと、次の項目に進みます。同様に、月、日、時、分を設定してください。



・DATE/TIMEの設定後、MENUを2回押すと、時計が動き始め、元の画面に戻ります。



設定を訂正するとき、手順3の操作でSETを繰り返し押して、修正したい項目に戻り、訂正してください。
年月日、時刻は内蔵電池を使って記憶させています。内蔵電池が消耗すると「CLOCK BATTERY」が表示されます。(P36)

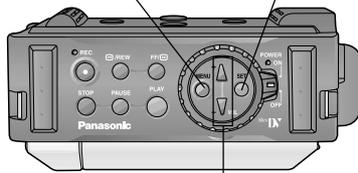
メニュー画面の操作のしかた

メニュー画面表示中に録画、再生はできません。
録画中は、メニュー画面の表示はできません。
再生中は、メニュー画面を表示することができます。

始める前に

本機を電源に接続してください。
(P16, 17)
白いボタンを押しながら、POWER (電源) を「ON」に合わせてください。

1, D MENU A, C SET (決定)



2, B +/- (選択)

メニュー画面を表示する

- 1 MENUを押す
 - ・「MAIN MENU」画面が表示されます。
- 2 +/-を押して、メニュー項目を選択する

メニュー項目の設定

- A SETを押す
 - ・選択した項目を設定してください。
 - B +/-を押す
 - ・設定したい項目を選択してください。
- | REC MODE | | LP |
|-----------|-------|-------|
| REC SPEED | SP | LP |
| AUDIO DUB | OFF | ON |
| AUDIO REC | 12bit | 16bit |
| AV JACK | | |
| AUDIO SEL | LINE | MIC |

REC MODE		LP
REC SPEED	SP	LP
AUDIO DUB	OFF	ON
AUDIO REC	12bit	16bit
AV JACK		
AUDIO SEL	LINE	MIC
- C SETを押す
 - ・選択した項目を設定してください。
(マークが選択を示します。)
 - D MENUを2回押す
 - ・元の画面に戻ります。

MAIN MENU画面について

- 1: REC MODE (録画モード)
REC SPEED、AUDIO DUB、AUDIO REC、AV JACK、AUDIO SELの選択ができます。
- 2: PLAYBACK MODE (再生モード)
COLOR MODE、AUDIO、B SEARCHの選択ができます。
- 3: REMOTE (リモコンモード)
CONTROL MODEまたはREMOTE MODEの選択ができます。
- 4: DISPLAY (表示モード)
DISPLAY、LINE OUT、C RESET、DATE/TIME COUNTERの選択ができます。
- 5: LCD (液晶モニターモード)
LCD BRIGHTNESSまたはLCD COLORの選択ができます。
- 6: CLOCK SET (日時設定モード)
DATE/TIME SETTINGメニューが表示されます。

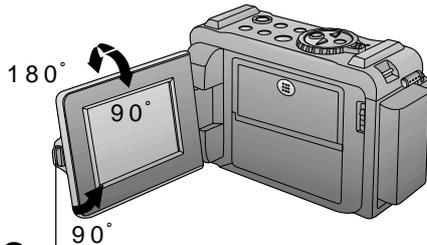
*メニューの説明については、
10~11ページをご参照ください。

ご使用前に

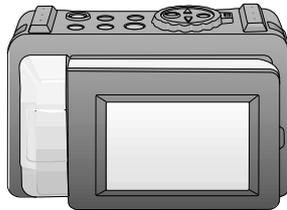
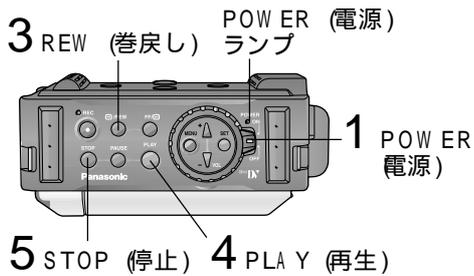
画像を再生する

画像を再生する

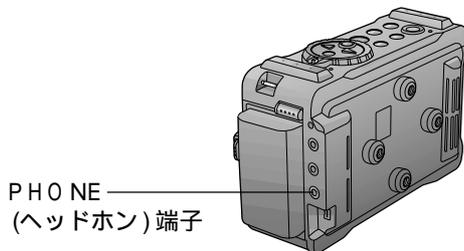
録画した画像を再生することができます。



2 液晶モニター開くボタン



ヘッドホン (別売品) の接続



20

始める前に

本機を電源に接続してください。
(P16, 17)
録画済みのテープを入れてください。

- 1 白いボタンを押しながら、POWER (電源) を「ON」に合わせる
・電源 (POWER) ランプが赤く点灯します。
・確実に「ON」の位置まで回してください。
- 2 液晶モニターを開く
・液晶モニター開くボタンを押して液晶モニターのロックを解除し、完全に開いてください。
- 3 ◀ (REW) を押す
・テープを巻戻します。(巻戻し中にテープ始端までくると自動的に停止します。)
- 4 ▶ (PLAY) を押す
・再生が始まります。
- 5 ■ (STOP) を押す
・再生が停止します。

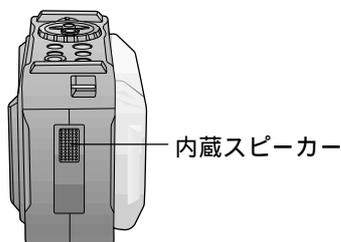
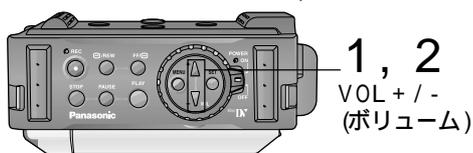
メモ

他のデジタルビデオ機器を使って、LPモードで録画されたテープを再生すると、画像にモザイク状のノイズが出る場合があります。液晶モニターを使用すると、バッテリーの消耗が早くなります。本機はテーブルなどにおいて再生を見ることができます。液晶モニターを左図のように180°回転させて閉じ、本機にぴったり付けてください。

ヘッドホン (別売品) をPHONE (ヘッドホン) 端子に接続することができます。

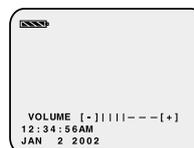
音量の調整

テープ再生時のスピーカー音量を調整します。(ヘッドホン使用時はヘッドホンの音量を調整します。)



- 1 VOL +/- を音量表示画面が出るまで押し続ける
 ・PLAY (再生) モード中の内蔵スピーカーの音量調整ができます。
- 2 + を押す
 ...音量が大きくなる
 - を押す
 ...音量が小さくなる

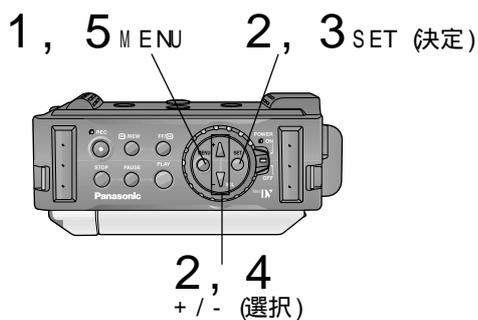
液晶モニター



再生する

液晶モニターの明るさと色合いの調整

液晶モニターの明るさと色を調整します。



液晶モニター



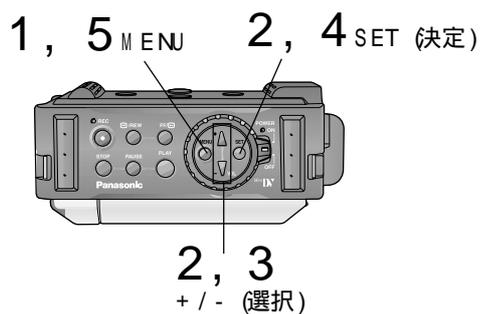
- 1 MENU を押す
 ・「MAIN MENU」画面が表示されます。(P19)
- 2 +/- を押して「LCD」を選択し、SET を押す
 ・「LCD」調整メニュー画面が表示されます。
- 3 SET を押して、「LCD BRIGHTNESS」または「LCD COLOR」を選択する
 (メニュー画面:P11)
- 4 +/- を0.5秒以上押し続けて、調整を行う
 ・LCD BRIGHTNESS
 ... + を押すほど画面が明るくなります。
 ・LCD COLOR
 ... + を押すほど色が濃くなります。
- 5 MENU を2回押す
 ・メニュー画面が消え、元の画面に戻ります。

21

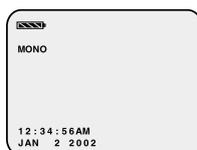
画像を再生する

COLOR (カラー) モード

カラー (ON) 再生か、モノクロ (OFF) 再生かを選択することができます。



液晶モニター

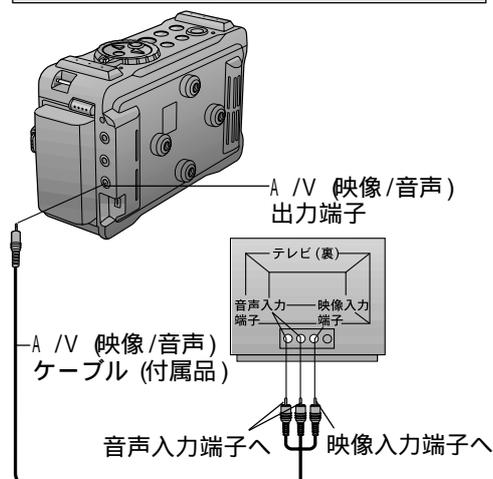


- 1 MENUを押す
 - ・「MAIN MENU」画面が表示されます。(P19)
- 2 + / - を押して「PLAYBACK MODE」を選択し、SETを押す
 - ・「PLAYBACK MODE」メニュー画面が表示されます。
- 3 + / - を押して「COLOR MODE」を選択する
(メニュー画面:P10)
- 4 SETを押して「ON」または「OFF」を選択する
 - ・ON...カラー再生
 - ・OFF...モノクロ再生
- 5 MENUを2回押す
 - ・メニュー画面が消え、元の画面に戻ります。
 - ・OFFを選択したときは、画面に「MONO」が表示されます。

テレビで見る

付属のA/V (映像/音声) ケーブルを接続するだけで、テレビで再生映像を見ることができます。

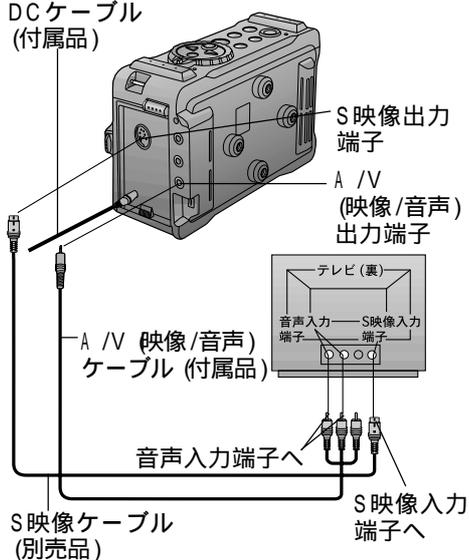
A/V (映像/音声) 入力端子付きテレビ



S映像入力端子付きテレビ

高画質で再生するためには、S映像端子のついたテレビをお勧めします。

DCケーブル
(付属品)



始める前に

S映像端子を使用するときは、DCケーブルをDC IN端子に差し込み、ACアダプターから電源を供給してください。

- 1 白いボタンを押しながら、POWER (電源) を「ON」に合わせる
- 2 MENUを押す
 - ・「MAIN MENU」画面が表示されます。(P19)
- 3 +/-を押して、「REC MODE」を選択し、SETを押す
 - ・「REC MODE」メニュー画面が表示されます。
- 4 +/-を押して、「AV JACK」を選択する (メニュー画面:P10)
- 5 SETを押して、「OUT/PHONES」を選択する
 - ・MENUを2回押すと、メニュー画面が消えます。
 - ・画面に「DV IN」が表示されます。
 - ・テレビ画面に機能表示などを表示したいときは、DISPLAYメニューで「LINE OUT」を「ON」に設定してください。
- 6 テレビの電源を入れ、入力切り換えを「ビデオ」または「S-ビデオ」に設定する
 - ・詳しくはテレビの取扱説明書をご確認ください。
- 7 再生する

メモ

接続するときは、必ず本機とテレビの電源を切ってから行ってください。A/V (映像/音声) ケーブルはしっかり接続してください。

再生する

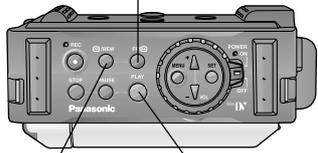
特殊再生



すべての特殊再生の間は、音声は聞こえません。

見たい場面をすばやくさがす
(早送り再生/巻戻し再生)

A, B FF (早送り)



A, B
REW (巻戻し)

B PLAY (再生)

液晶モニター



A 再生中に▶▶ (FF) または
◀◀ (REW) を押し続ける
・ボタンを押している間、早送り再生、巻戻し再生が続けられます。

または

B ▶▶ (FF) または◀◀ (REW) を
1回押す
・ボタンから指を離しても、早送り再生、巻戻し再生を続けます。
・通常の再生に戻すには、▶ (PLAY) を押ししてください。

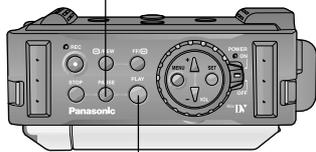


早送り再生、巻戻し再生をすると、画面が一瞬青くなったり、モザイク状になることがあります。異常ではありません。

静止画再生

1, 2

PAUSE (一時停止)



2 PLAY (再生)

1 再生中に || (PAUSE) を押す

2 ▶ (PLAY) または || (PAUSE) を押す
・通常の再生に戻ります。



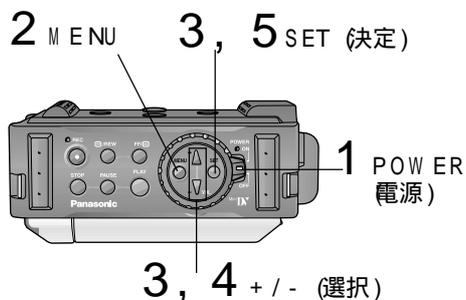
静止画再生が3分以上続くと、テープとビデオヘッド保護のため、停止します。



すべての特殊再生の間は、音声は聞こえません。

録画した最後の部分をさがす (ブランクサーチ)

録画した最後の部分 (テープの未使用部分) を見つけるときは、ブランクサーチ機能を使うと便利です。

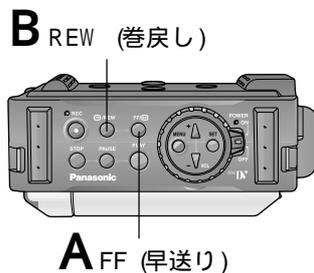


液晶モニター



早送り/巻戻し中の画像確認

早送りや巻戻し中に、画像を確認できます。



- 1 白いボタンを押しながら、POWER (電源) を「ON」に合わせる
- 2 MENUを押す
 - ・「MAIN MENU」画面が表示されます。(P19)
- 3 +/- を押して「PLAYBACK MODE」を選択し、SETを押す
 - ・「PLAYBACK MODE」メニュー画面が表示されます。
- 4 +/- を押して「B.SEARCH」を選択する
(メニュー画面:P10)
- 5 SETを押して「ON」を選択する
 - ・画面に「BLANK」が表示されます。

再生する

- A** 早送り中に▶▶ (FF) を押し続ける
- B** 巻戻し中に◀◀ (REW) を押し続ける
 ・ボタンを押し続けている間は、早送り再生または巻戻し再生になり、画像を確認できます。

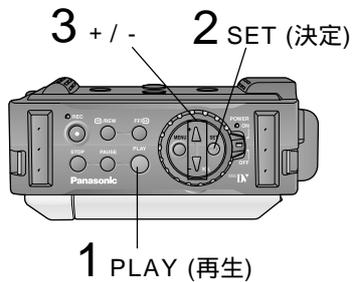
特殊再生



すべての特殊再生の間は、音声は聞こえません。

可変速サーチ

速度を変えて、再生、逆再生します。



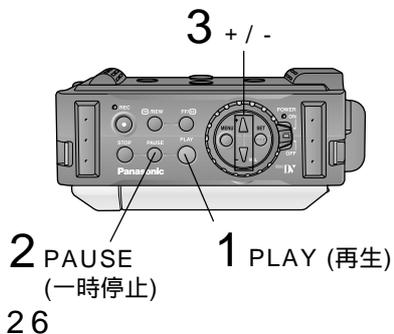
- ▶ (PLAY) を押す
・再生が始まります。
- SETを1秒以上押し続ける
- +/- を繰り返し押し、再生速度を変える
 - ・ + を押す
 - 早送り再生：再生速度が早くなります。
 - 巻戻し再生：再生速度が遅くなります。
 - ・ - を押す
 - 早送り再生：再生速度が遅くなります。
 - 巻戻し再生：再生速度が早くなります。

通常の再生に戻るときは、▶ (PLAY) を押すと、通常の再生に戻ります。



可変速サーチは、早送り再生、巻戻し再生とも (1/5倍速 (LPモード: 1/3倍速)、1倍速、2倍速、5倍速、10倍速、20倍速) の6通りあります。可変速サーチ (正方向の1倍速 (等倍) を除く) 中は、画面がモザイク状になります。可変速サーチ中は、音声は聞こえません。

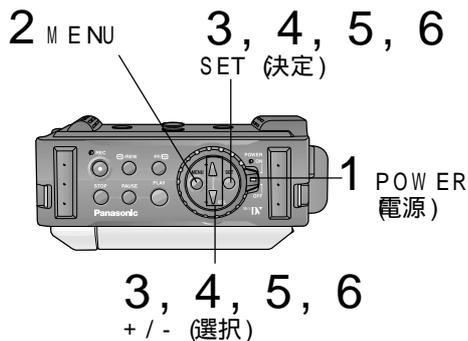
コマ送り再生



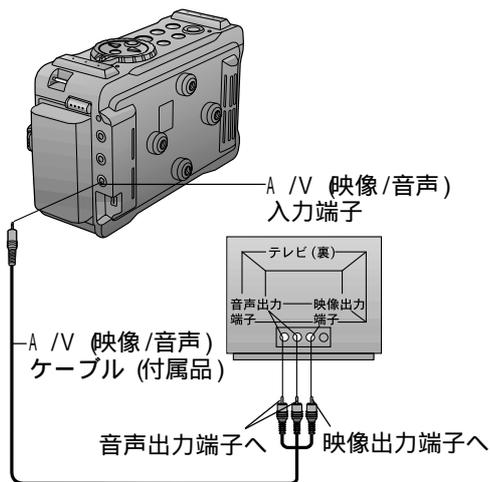
- ▶ (PLAY) を押す
・再生が始まります。
- || (PAUSE) を押す
・再生を一時停止します。
- +/- を押す
・静止画を1コマずつ進めたり、戻したりすることができます。

録画する

画像を録画する



A/V (映像/音声) 出力端子付きテレビ



始める前に

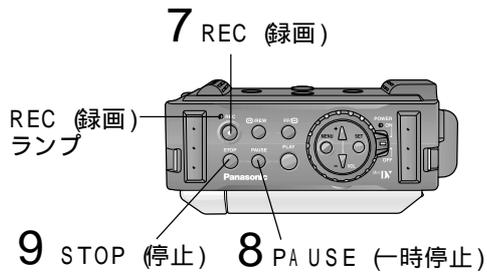
本機を電源に接続してください。
(P16, 17)
誤消去防止つまみを閉じたテープを入れてください。(P14)

- 1 白いボタンを押しながら、POWER (電源) を「ON」に合わせる
 - ・電源 (POWER) ランプが赤く点灯します。
 - ・確実に「ON」の位置まで回してください。
- 2 MENUを押す
 - ・「MAIN MENU」画面が表示されます。(P19)
- 3 +/- を押して「REC MODE」を選択し、SETを押す
 - ・「REC MODE」メニュー画面が表示されます。
- 4 +/- を押して「AV JACK」を選択し、SETを押して「IN」を選択する
(メニュー画面:P10)
- 5 +/- を押して「AUDIO SEL」を選択し、SETを押して「LINE」を選択する
 - ・画面に「LINE A V IN」が表示されます。
 - ・テレビ画面に機能表示などを表示したいときは、DISPLAYメニューで「LINE OUT」を「ON」に設定してください。
- 6 +/- を押して「REC SPEED」を選択し、SETを押して「SP」または「LP」を選択する
(メニュー画面:P10)
 - ・MENUを2回押すと、メニュー画面が消えます。

録画する

～次ページにつづく～

録画する



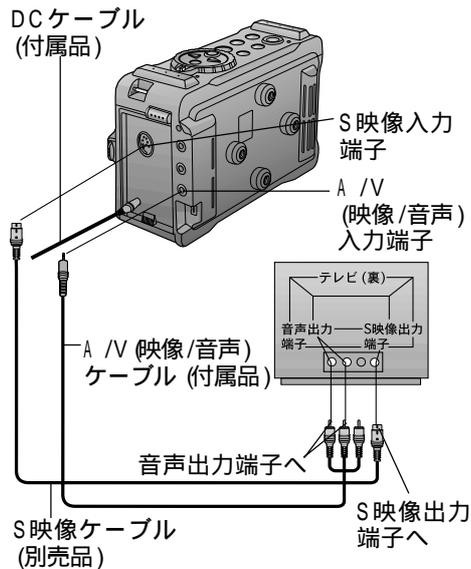
- 7 ● (REC) を押す**
- ・録画が始まります。
 - ・REC (録画) ランプが赤く点灯します。

- 8 || (PAUSE) を押す**
- ・録画を一時停止します。

- 9 ■ (STOP) を押す**
- ・録画を停止します。

S映像出力端子付きテレビ

高画質で録画するためには、S映像端子のついたテレビをお勧めします。



メモ

録画の一時停止状態が5分以上続くと、テープ保護のため、自動的に停止します。
接続するときは、必ず本機とテレビの電源を切ってから行ってください。
A/V (映像/音声) ケーブルは確実に接続してください。

さまざまな録画録音機能

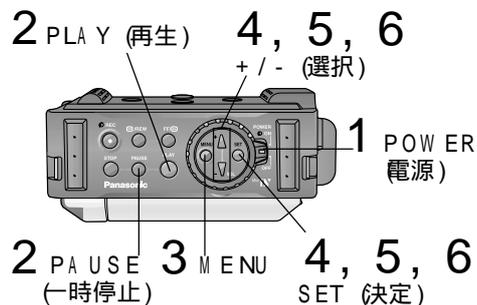
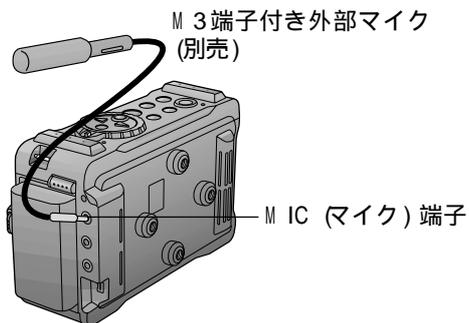
録画した映像に別の音声を入れる (アフレコ)

録画した映像に後からBGMやナレーションを入れることができます。

12 bit	元の音声はST (ステレオ) 1に録音されており、新たな音声はST (ステレオ) 2に録音されます。
16 bit	元の音声は新たな音声に完全に置き換えられます。

録画時のオリジナルの音声も残したい場合は12 bitに設定して録画してください。

12 bitと16 bitが混在して録画されているテープの場合、16 bitの部分からアフレコを始めると、12 bit音声も完全に置き換えられますのでご注意ください。



始める前に

外部マイクを接続してください (使用する場合)。

A / V (映像/音声) ケーブルを使って、本機と外部機器 (オーディオ機器など) を接続してください (使用する場合)。本機の電源を入れてください。録画済みのテープを入れてください。

- 1 白いボタンを押しながら、POWER (電源) を「ON」に合わせる
- 2 ▶ (PLAY) を押し、音声を入れたい場面で || (PAUSE) を押す
- 3 MENUを押す
 - ・「MAIN MENU」画面が表示されます。(P19)
- 4 +/- を押して「REC MODE」を選択し、SETを押す
 - ・「REC MODE」メニュー画面が表示されます。

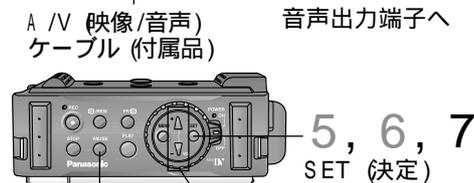
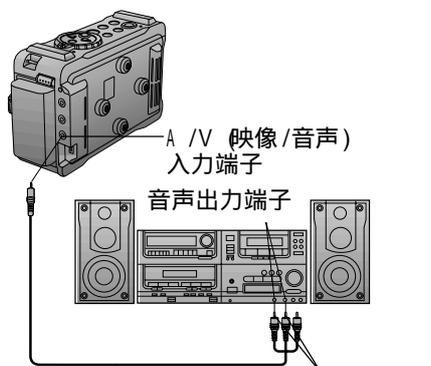
外部マイクを使用するとき

- 5 +/- を押して「AV JACK」を選択し、SETを押して「OUT/PHONES」または「IN」を選択する
 - ・OUT/PHONESを選択すると、AUDIO SELは自動的にMICに設定されます。
- 6 +/- を押して「AUDIO SEL」を選択し、SETを押して「MIC」を選択する
 - ・30ページの手順7に進んでください。

録画する

～次ページにつづく～

さまざまな録画録音機能



8, 9 PAUSE (一時停止)

5, 6, 7 AUDIO SEL +/- (選択)

アフレコ音声を再生するには...
PLAYBACK MODEメニューのAUDIOを設定してください。

・AUDIO設定によって、12 bitでアフレコ済み (SPモードのみ) のテープを再生するとき、アフレコ音声と元の音声を切り替えることができます。

ST 1	元の音声を再生します。
ST 2	アフレコ音声を再生します。
MIX	元の音声とアフレコ音声を同時に再生します。

メモ

16 bitで記録した部分をアフレコすると、録画時に録音した音声は消えます。
12 bitで記録した部分をアフレコし、音声を再生する時にAUDIOの設定でMIXを設定すると、元の音声とアフレコ音声の両方の音声が再生されます。
LPモードで録画した部分にアフレコはできません。

外部機器 (オーディオ機器など) を使用するとき

29ページの手順1~4の方法でREC MODEメニュー画面を表示してください。

5 +/- を押して「AV JACK」を選択し、SETを押して「IN」を選択する

6 +/- を押して「AUDIO SEL」を選択し、SETを押して「LINE」を選択する

7 +/- を押して「AUDIO DUB」を選択し、SETを押して「ON」を選択する

- ・本機は待機状態になり、液晶モニターに「A DUB II」が表示されます。
- ・液晶モニターに「LINE A IN (LINE選択時) または「MIC IN (MIC選択時)」が表示されます。

8 II (PAUSE) を押す

- ・アフレコ録音を始めます。
- ・マイク入力の場合...
マイクに向かって話してください。
- 外部機器入力の場合...
接続している機器を再生してください。
- *アフレコできるのは、NTSC方式で録音されたテープだけです。テープがNTSC方式で録音されていない場合、下のような画面が表示されます。



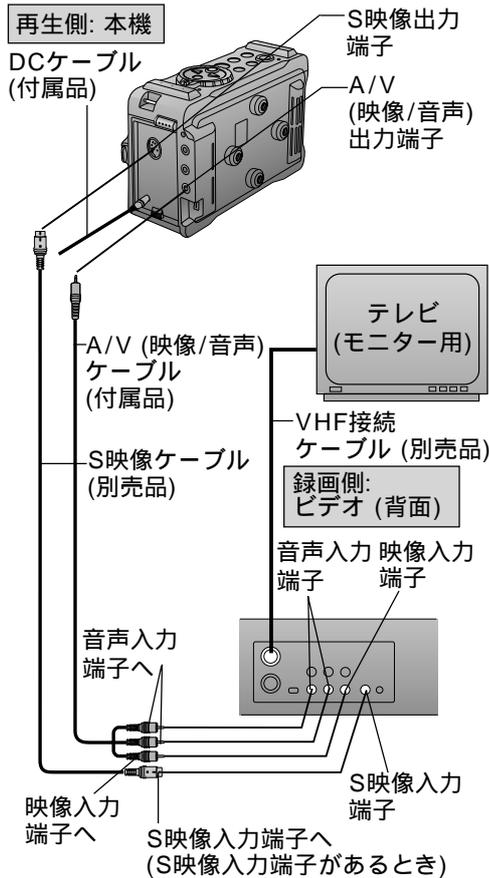
9 II (PAUSE) を押す

- ・アフレコ録音を停止します。

メモ

使用しているマイクがテレビまたは本機のスピーカーに近すぎると、ハウリングノイズ (フィードバック) が発生することがあります。その場合には、マイクを遠ざけるか、ボリュームを下げてください。(P21)
テープに無記録部分があると、アフレコは使用できません。

S-VHS (VHS) カセットにコピーする (ダビング)



テレビで見る

テレビの電源を入れて、ビデオチャンネル (チャンネル1か2) を選んでください。録画用ビデオのビデオ/テレビ選択をビデオに合わせてください。

お願い

著作権法上、著作権保護信号が記録されたテープをダビングした場合、正常な画像は録画できません。

始める前に

本機とビデオに電源を供給してください。本機を左図のようにビデオに接続してください。
両機器の電源を入れてください。ビデオの入力切換えを「LINE (外部入力)」に設定してください。
S映像端子を使用するときは、DCケーブルをDC IN端子に差し込み、ACアダプターから電源を供給してください。(P17)

- 1 本機 (再生側)...記録済みのカセットを入れる
ビデオ (録画側)...録画用カセット (つめの折れていないもの) を入れる
- 2 MENUを押す
・「MAIN MENU」画面が表示されます。(P19)
- 3 +/- を押して「REC MODE」を選択し、SETを押す
・「REC MODE」メニュー画面が表示されます。
- 4 +/- を押して「AV JACK」を選択し、SETを押して「OUT/PHONES」を選択する
(メニュー画面: P10)
・MENUを2回押すと、メニュー画面が消えます。
・液晶モニターに「DV IN」が表示されます。
- 5 本機の▶ (PLAY) を押し、再生を始める位置で|| (PAUSE) を押す
- 6 ビデオを録画一時停止状態にする
- 7 本機とビデオのPAUSE (一時停止) を同時に押す
・ダビングを開始します。
- 8 本機とビデオのSTOP (停止) を押す
・ダビングを終了します。

録画する

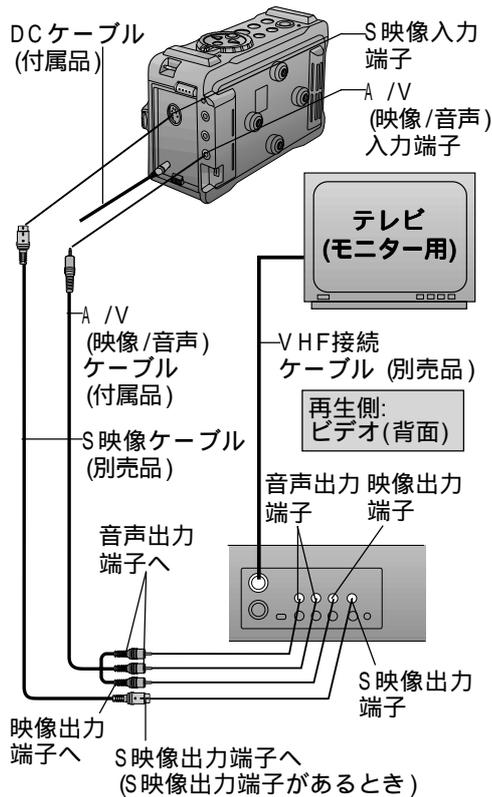


メモ
お使いのビデオやテレビの取扱説明書をよくお読みください。カセットをダビングすると画質が多少低下します。液晶モニターにタイムコードが表示されている場合、リセットできません。年月日、時刻表示していると、カセットに記録されます。

さまざまな録画録音機能

S-VHS (VHS) カセットからコピーする (ダビング)

録画側: 本機



メモ

S映像ケーブルとA/V (映像/音声) ケーブルを同時に別の機器へ接続しないでください。画像や音声が乱れることがあります。
S映像ケーブルとA/V (映像/音声) ケーブルを両方接続している場合、S映像が入力されます。
カウンターを表示しているビデオで録画した場合、カウンターは本機ではリセットできません。
入力信号によっては、字幕信号が正常に記録されないことがあります。

始める前に

本機とビデオに電源を供給してください。本機を左図のようにビデオに接続してください。
両機器の電源を入れてください。S映像端子を使用するときは、DCケーブルをDC IN端子に差し込み、ACアダプターから電源を供給してください。(P17)

- 1 ビデオ (再生側)...記録済みのカセットを入れる
本機 (録画側)...録画用カセット (誤消去防止つまみを閉じたもの) を入れる
- 2 MENUを押す
・「MAIN MENU」画面が表示されます。(P19)
- 3 +/-を押して「REC MODE」を選択し、SETを押す
・「REC MODE」メニュー画面が表示されます。
- 4 +/-を押して「AV JACK」を選択し、SETを押して「IN」を選択する
- 5 +/-を押して「AUDIO SEL」を選択し、SETを押して「LINE」を選択する
(メニュー画面:P19)
・MENUを2回押すと、メニュー画面が消えます。
・液晶モニターに「LINE A V IN」が表示されます。
- 6 ビデオのPLAY (再生) を押し、再生を始める位置でPAUSE (一時停止) を押す
- 7 本機を再生一時停止状態にし、(REC) を押して、録画一時停止状態にする
- 8 本機とビデオのII (PAUSE) を同時に押す
・ダビングを開始します。
- 9 本機とビデオの■ (STOP) を押す
・ダビングを終了します。

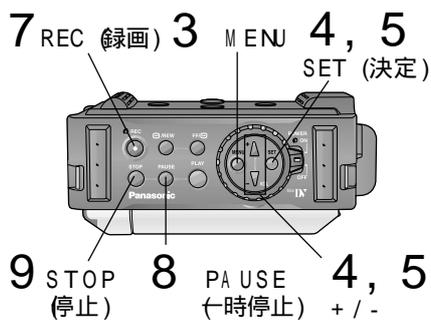
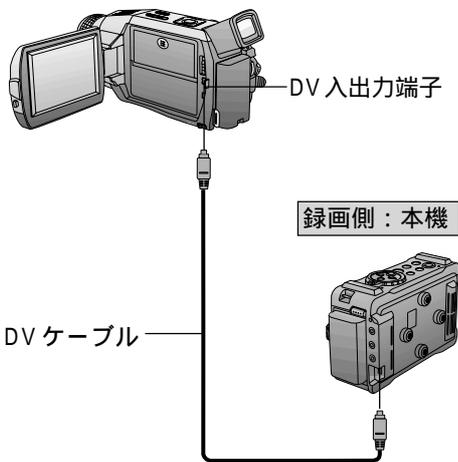
お願い

著作権法上、著作権保護信号が記録されたテープをダビングした場合、正常な画像は録画できません。

デジタルビデオ機器から録画する

DV入出力端子を持ったデジタルビデオ機器と本機をDVケーブル(別売品)で接続すると、デジタル信号による高画質なダビングができます。

再生側: デジタルビデオ機器



お願い

著作権法上、著作権保護信号が記録されたテープをダビングした場合、正常な画像は録画できません。

始める前に

本機とデジタルビデオ機器に電源を供給してください。
本機とデジタルビデオ機器を、DVケーブルで接続してください。
両機器の電源を入れてください。

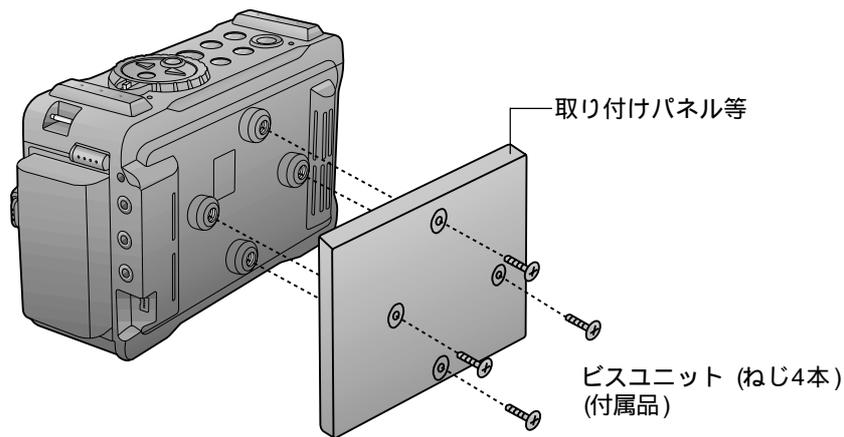
- 1 デジタルビデオ機器(再生側)...録画済みのカセットを入れ、POWER(電源)をVCRに合わせる
- 2 本機(録画側)...録画用カセット(誤消去防止つまみを閉じたもの)を入れ、POWER(電源)をONに合わせる
- 3 MENUを押す
 - ・「MAIN MENU」画面が表示されます。(P19)
- 4 +/-を押して「REC MODE」を選択し、SETを押す
 - ・「REC MODE」メニュー画面が表示されます。
- 5 +/-を押して「AV JACK」を選択し、SETを押して「OUT/PHONES」を選択する
(メニュー画面:P10)
 - ・MENUを2回押すと、メニュー画面が消えます。
 - ・液晶モニターに「DV IN」が表示されます。
- 6 デジタルビデオ機器の▶(PLAY)を押し、再生を始める位置でPAUSE(一時停止)を押す
- 7 本機を再生一時停止状態にし、(REC)を押して、録画一時停止状態にする
- 8 両機器の|| (PAUSE)を同時に押す
 - ・ダビングを開始します。
- 9 両機器の■ (STOP)を押す
 - ・ダビングを終了します。

録画する

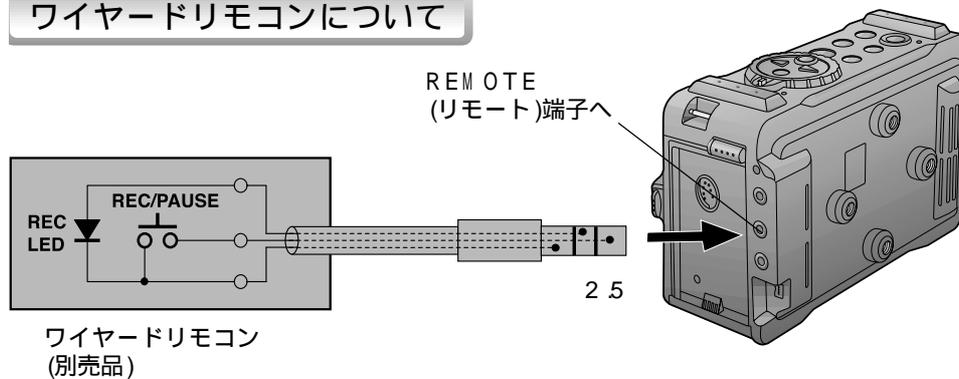
使用上のご注意

ビスの使い方

本体後面に取付けパネル等をビス止めする場合は、付属のビスを使用してください。

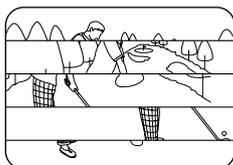


ワイヤードリモコンについて



録画中はREC LEDが点灯します。
録画一時停止中はREC LEDが点滅します。
他のモードはREC LEDが消灯します。
REC/PAUSE (録画/一時停止) スイッチをOPEN (開く) からCLOSE (閉じる) 時に、モードが変化します。
メニュー画面:P11をご参照ください。
お買い上げの販売店にご相談ください。

ビデオヘッドのお手入れ



ヘッドが汚れると、ブロック状のノイズが出たり、画面全体が青くなります。

ヘッドのよごれについて：

通常、本機のヘッドを清掃する必要はありませんが、空気中のほこり、痛んだテープの再生、長時間の使用によって、ヘッドがよごれることがあります。液晶モニターに「NEED HEAD CLEANING」が5秒間表示されたら、ヘッドの清掃をしてください。

ヘッドの清掃について：

- ・ヘッド清掃は、認定サービス技術者に任せることをおすすめします。最寄りのパナソニックサービスセンターにご相談ください。
- ・別売のヘッドクリーナーでクリーニングする場合は、パナソニック製ヘッドクリーナー (AY-DVMCL) をお求めいただくことをおすすめします。ヘッドクリーナーのご使用方法についてはヘッドクリーナーの説明書をお読みください。

テープ操作についてのご注意

ボタン操作 (再生、早送り、巻戻しなど) を繰り返す時に、前の操作が完了するまで次の操作ができません。

POWER (電源) スイッチやすべてのボタン操作 (再生、早送り、巻戻しなど) は、テープが完全にセットされてから動作します。

その他

警告表示について

液晶モニターには次のような警告が表示されます。

表示	原因
 TAPE NOT INSERTED	本機にカセットを入れないで電源を入れると、  が点滅し、「TAPE NOT INSERTED」(カセットが入っていません)が5秒間表示されます。録画は始まりません。
 CHECK REC TAB	本機に誤消去防止つまみが開いたカセットを入れて、アフレコまたは録画操作すると、  が点滅し、「CHECK REC TAB」(カセットの誤消去防止つまみを確認してください)が5秒間表示されます。録画は始まりません。
 CANNOT REC	NTSC方式以外で記録された部分にアフレコ操作すると、「CANNOT REC」(記録できません)が5秒間表示されます。
INCOMPATIBLE TAPE	未対応テープを入れると、「INCOMPATIBLE TAPE」(未対応テープです)が5秒間表示されます。
NEED HEAD CLEANING	ビデオヘッドが汚れている場合、「NEED HEAD CLEANING」(ビデオヘッドを清掃してください)が5秒間表示されます。
CANNOT REC LP-MODE	LPモードで記録された部分にアフレコ操作すると、「CANNOT REC LP-MODE」(LPモード記録部のため記録できません)が5秒間表示されます。
 DEW DETECTED	本機内部に水滴がつくと、「WARNING」が点滅し、「DEW DETECTED」(結露しています)が表示されます。約15秒後に自動的に電源が切れます。しばらく待ってから電源を入れて、つゆつき表示が消えてからご使用ください。
  LOW BATTERY	バッテリーが消耗し、充電が必要になると、「WARNING」が点滅し、「LOW BATTERY」(バッテリーが消耗しています)が表示されます。約15秒後に自動的に電源が切れます。(P12)
CLOCK BATTERY	内蔵日付用電池が消耗すると、「CLOCK BATTERY」(内蔵日付用電池が消耗しています)が表示されます。本機にACアダプターを接続し、約4時間そのままの状態にしておくと、内蔵電池が充電されます。充電後、日時を設定してください。
INCOMPATIBLE DATA	NTSC方式以外で記録したテープを再生したり、著作権保護の信号が入ったテープをダビングしようとする時、「INCOMPATIBLE DATA」(非互換性データです)が表示されます。

「故障かな!？」

ご使用の間に「故障かな!？」と感じられましたら、下記の表にしたがってご点検ください。

それでも直らないときは、すべての接続を外して販売店までご連絡ください。

こんなときは	原因・対策 (参照ページ)
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ・バッテリーを使い切っています。(P15) ・極性を正しく入れてください。(P16)
勝手に電源が切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ・バッテリーを使い切っています。(P15)
液晶モニターに画像が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・電源に接続されているか確認してください。(P16, 17) ・POWER (電源) がONになっているか確かめてください。(P17) ・結露 (DEW DETECTED) の警告が出ていないか確認してください。(P36) ・すべての必要な接続を、正しくしっかりと行ってください。(P17)
液晶モニターがあまりにもまぶしかったり、暗かったりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・液晶モニターの明るさを正しく調整して設定してください。(P21)
テープが入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ・POWER (電源) がONになっているか確かめてください。(P17) ・誤消去防止つまみを上にし、カセット窓を外側に向けて入れてください。(P14)
テープが取り出せない。	<ul style="list-style-type: none"> ・POWER (電源) がONになっているか確かめてください。(P17)
操作ボタンを押しても動かない。	<ul style="list-style-type: none"> ・POWER (電源) がONになっているか確かめてください。(P17) ・結露 (DEW DETECTED) の警告が出ていないか確認してください。(P36) ・REMOTEメニューのCONTROL MODEがLOCAL/REMOTEに設定されているか確かめる。(P11)
録画できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・誤消去防止つまみを閉じているか確かめてください。(P14) ・バッテリーの残量表示を確認してください。(P12)
マイクからの音声記録できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・本機がREC (録画) またはREC/Pause (録画一時停止) になっているか確かめる。
音声が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> ・PLAYBACK MODEメニューのAUDIOがST1に設定されているか確かめる。(P10)

その他

アフターサービスについて

1. 保証書—内容のご確認と保存のお願い

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

2. 保証期間— 1ヶ月

取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき販売店で「無料修理」させていただきます。

保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害、(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電圧(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
- (ニ) 車両・船舶等に搭載された場合、その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障及び損傷
- (ホ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障および損傷
- (ヘ) 別に指定する摩耗性の部品、あるいは付属品の故障及び損傷

3. 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

4. 修理を依頼される前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、「故障かな!」の項を点検していただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、販売店にお申しつけください。

5. ご転居・定期保持サービス等ご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

* 摩耗性部品とは下記部品類です。

- | | |
|---------|---------|
| ・ビデオヘッド | ・各種ベルト |
| ・ピンチローラ | ・ゴムプリー類 |
| ・各種ブレーキ | ・ローラ類 |
| ・モータ類 | ・ヘッド類 |

定期保守サービスのおすすめ

ビデオとは—

- ・ 複雑なメカニズムで構成されており、ベルト、ローラ、ヘッドなどが数多く使用されています。
- ・ これら部品は使用時間が経過するにつれて摩耗劣化し、故障の原因となります。
- ・ また、ほこり、ごみなども安定した機能を妨げ、トラブル発生の原因となります。

このため、単に従来の故障発生時に行うアフターサービスにとどまらず、総合的なサービス、即ちビデオシステムの機能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐために、保守サービス(メンテナンス)を定期的に行なうことが非常に大切であるといえます。定期保守サービス(有料扱い)については、お買い上げの販売店にご相談ください。

仕様

電源 :	デジタルビデオカセットレコーダー : 入力 DC 7.9 V ACアダプター : 入力 AC 100-240 V, 50/60 Hz 出力 DC 7.9 V (本体使用時) DC 8.4 V (充電時) バッテリー: リチウムイオン式 出力 DC 7.2 V
消費電力 :	デジタルビデオカセットレコーダー : DC 7.2 V/7.9 V 4.5 W (録画時) (最大 6.5 W: 巻戻し時) ACアダプター : 25 VA (本体使用時) 23 VA (充電時) 0.5 W (未使用時)
デジタルインターフェース :	DV入出力端子 (IEEE1394準拠、4 pin)
映像信号 :	NTSC方式 525本 60フィールド
映像記録システム :	回転2ヘッドヘリカルスキャン
映像出力レベル :	1.0 Vp-p, 75
S映像出力レベル :	Y出力 : 1.0 Vp-p, 75 C出力 : 0.286 Vp-p, 75
映像入力レベル :	1.0 Vp-p, 75
S映像入力レベル :	Y入力 : 1.0 Vp-p, 75 C入力 : 0.286 Vp-p, 75
音声 :	12 bit (32 kHz) 4 ch 16 bit (48 kHz) 2 ch
音声出力レベル (LINE) :	-10 dBV 出力インピーダンス 1 k 負荷インピーダンス 10 k
音声入力レベル (LINE) :	-10 dBV 入力インピーダンス 47 k
音声入力レベル (MIC) :	-70 dBV 入力インピーダンス 5600 マイク感度 -50 dB
液晶モニター :	3.5インチ液晶モニター
推奨使用温度 :	0 ~ 40
推奨相対湿度 :	10 % ~ 75 %
質量 :	デジタルビデオカセットレコーダー : 約500 g ACアダプター : 約160 g
外形寸法 :	デジタルビデオカセットレコーダー : 幅143 mm X 高さ94.5 mm X 奥行き69.7 mm ACアダプター : 幅70 mm X 高さ45 mm X 奥行き115 mm

質量と外形寸法は近似値です。
デザインと仕様は、改良のため予告なく変更する場合がありますが、ご了承ください。

その他

索引

あ行

アフレコ	29, 30
安全上のご注意	4 ~ 7
液晶モニターの明るさと色合いの調整	21
液晶モニターの表示	12 ~ 13
音量の調整	21
音量表示	12, 21

か行

カウンターメモリ	13
各部の名前	8 ~ 9
カセットの画像をコピーする	31, 32
カセットを入れる	14
画像を再生する	20
画像を録画する	27 ~ 28
可変速サーチ	26
カラーモード	22
警告表示について	36
結露	36
誤消去防止つまみ	14
コマ送り再生	26

さ行

仕様	39
使用上のご注意	34 ~ 35
静止画再生	24

た行

タイムコード	13
テープ残量表示	12
デジタルビデオ機器から録画する	33
テレビで見る	23
時計の設定	18

な行

日時表示	12
------------	----

は行

バッテリー	2, 15, 16
バッテリー残量表示	12
バッテリーに関する警告表示	36
早送り/巻戻し中の画像確認	25
早送り再生/巻戻し再生	24
ビスユニット	2, 34
ビデオヘッドのお手入れ	35
付属品	2
ブランクサーチ	25
ヘッドホン (別売)の接続	20

ま行

メニュー画面の操作のしかた	19
メニュー画面の表示	10 ~ 11
もくじ	3

ら行

録画速度/再生速度	14
-----------------	----

わ行

ワイヤードリモコンについて	34
---------------------	----

アルファベット順

A Cアダプター	2, 15, 17
A /Vケーブル	2, 23, 27 ~ 28, 30 ~ 32
DCケーブル	2, 17
DVケーブル	33
VHF接続ケーブル	31, 32

松下電器産業株式会社 AVC 社 システム事業グループ

☎ 571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

LSQT0626A
S0902A 0